## ── 医療トピックス ──

## くすり一口メモ

## 添付文書に「自殺企図」「自殺念慮」等の記載がある薬剤について

ある種の薬剤投与によりうつ状態が惹起され、重篤な場合には自殺企図に至る例があります。自殺関連行動を表す言葉には、様々なものがあります。『精神科救急医療ガイドライン (2015年版)』によると、「自殺未遂」とは、自殺を意図して、あるいはその行為が致死的であると理解した上で自損行為をし、結果的に死に至らずに生存した状態を表します。一方、結果的に死に至った場合を「自殺既遂」といいます。「自殺企図」は上述の自殺既遂と自殺未遂を指しています。他に、自分自身の死を強くイメージすることや死を願望することを「希死念慮」といい、自殺をしてしまいたいと考えることを「自殺念慮」といいます。

添付文書上「自殺」の記載がある薬剤				添付文書における記載項目										
				警	禁	効能使用上の 効果注 意			相互作用	副作用		1	過	
薬効分類	成	分	名	医薬品名	告	忌	使用上の注意	慎重投与	重要な基本的注意	併用注意	重大な副作用	その他の副作用	その他の注意	量投与
天然型インターフェロン製剤			(NAMALWA)	スミフェロン	•				•		<u>01*</u>		-	<u> </u>
天然型インターフェロン製剤			01	フェロン	•				•		01*		-	<u> </u>
インターフェロン製剤				イントロンA	•				•		01*			H
インターフェロン製剤				ペガシス	•						02*			<del></del>
インターフェロン製剤		エロンテル	7 / Y = 2b	ペグイントロン					•		01*		-	H
抗肝炎ウイルス薬	テラプレビル リバビリン			テラビック レベトール					•		○1.ti		-	H
抗肝炎ウイルス薬 抗ウイルス薬	バニプレビル			バニヘップ		0			•		01*		-	H
抗ワイルム楽   多発性硬化症再発予防薬		' ( ^ ) . h	1 -	アボネックス		0			•		○3* ○1*		-	H
多発性硬化症再発予防薬	インターフエロ	7 ( - y -	1a	ベタフェロン		0			•		01*			H
9 元任使化症 丹光 了 防楽 リウマチ治療薬 (TNF α 阻害薬)			10	シムジア皮下注		0		_			∪1*	O1*	-	H
抗HIV薬	アタザナビル	· ( ) //		レイアタッツ								O1*	=	$\vdash$
抗HIV薬	エファビレンツ			ストックリン					0			<b>∪</b> 1*	-	$\vdash$
抗HIV薬	エルビテグラビ	ル配合刻		スタリビルド								O1*	-	
抗HIV薬	サキナビルメシ			インビラーゼ				_			○1*	<u>∪1</u> *	-	
抗HIV薬	サニルブジン			ゼリット							O14	○1*	-	
抗HIV薬	ラルテグラビル			アイセントレス								O5*	-	
抗悪性腫瘍薬	インターフェロ	ンガンマー	1a	イムノマックス-γ							○1*	O 0 1 1		
抗悪性腫瘍薬	セルモロイキン	,,,,,,	14	セロイク							01*			
抗悪性腫瘍薬	テセロイキン			イムネース							O1*			
降圧薬	ベンチルヒドロクロ	ロチアジド・	レセルピン配合剤	ベハイドRA		0					04*			
降圧薬・鎮静剤	レセルピン	- / / <del>-  </del>	до д / (1)	アポプロン		Ŏ					O4*			
抗アレルギー薬	ザフィルルカス	<u></u>		アコレート					0		0.1			
抗アレルギー薬	セチリジン			ジルテック								○3*		
抗アレルギー薬	プランルカスト			オノン					$\circ$					
抗アレルギー薬	モンテルカスト			シングレア					Ŏ				$\circ$	
抗アレルギー薬	レボセチリジン			ザイザル								○3*		
抗うつ薬 (三環系)	アミトリプチリ:	7		トリプタノール			0	0					0	
抗うつ薬 (三環系)	アモキサピン			アモキサン			0	0					0	
抗うつ薬 (三環系)	イミプラミン			トフラニール			0	0					0	
抗うつ薬 (SSRI)	エスシタロプラ	4		レクサプロ			0	0					0	
抗うつ薬 (三環系)	クロミプラミン			アナフラニール			0	0					0	
抗うつ薬 (四環系)	セチプチリン			テシプール			0	0					0	
抗うつ薬 (SSRI)	セルトラリン			ジェイゾロフト			0						0	
抗うつ薬 (SNRI)	デュロキセチン			サインバルタ			0	0					$\circ$	
抗うつ薬 (三環系)	ドスレピン			プロチアデン			0	0					$\circ$	
抗うつ薬	トラゾドン			レスリン			0	0					$\circ$	
抗うつ薬 (三環系)	トリミプラミン			スルモンチール			0	0					$\circ$	
抗うつ薬 (三環系)	ノルトリプチリ:	·		ノリトレン			0	0					$\circ$	
抗うつ薬 (SSRI)	パロキセチン			パキシル	0		0	0					0	
抗うつ薬 (SSRI)	フルボキサミン			デプロメール			0	0					0	
抗うつ薬 (四環系)	マプロチリン			ルジオミール				0					$\circ$	

抗うつ薬 (四環系)	ミアンセリン	テトラミド					Τ			$\bigcirc$	
抗うつ薬 (NaSSA)	ミルタザピン	リフレックス			516					Ŏ	П
抗うつ薬 (SNRI)	ミルナシプラン	トレドミン			510					Ŏ	П
抗うつ薬 (三環系)	ロフェプラミン	アンプリット			δĺŏ					Ŏ	П
抗精神病薬	アリピプラゾール	エビリファイ			5 0	•			○1*	Õ	П
抗精神病薬	オランザピン	ジプレキサ			ĬŎ				O1*	Ŏ	П
抗精神病薬	クエチアピン	セロクエル			Τŏ				O1*		П
抗精神病薬	スルトプリド	バルネチール			Τŏ				O1*		П
抗精神病薬	パリペリドン	インヴェガ			Tŏ				<u></u> 6*		П
抗精神病薬	ブロナンセリン	ロナセン			Τŏ				01*		П
抗精神病薬	ペロスピロン	ルーラン			Ó				○1*		П
抗精神病薬	モダフィニル	モディオダール				0					
抗精神病薬	リスペリドン	リスパダール							O1*		П
抗てんかん薬	アセチルフェネトライド	クランポール								0	$\Box$
抗てんかん薬	エトスクシミド	エピレオプチマル								Ô	П
抗てんかん薬	エトトイン	アクセノン								0	П
抗てんかん薬	ガバペンチン	ガバペン								0	П
抗てんかん薬	カルバマゼピン	テグレトール								Ŏ	
抗てんかん薬	クロナゼパム	リボトリール								0	
抗てんかん薬	クロバザム	マイスタン								0	
抗てんかん薬	スルチアム	オスポロット								0	
抗てんかん薬	ゾニサミド	エクセグラン				0			○1*	0	
抗てんかん薬	トピラマート	トピナ							○1*	0	
抗てんかん薬	トリメタジオン	ミノアレ								0	П
抗てんかん薬	バルプロ酸	デパケン								0	
抗てんかん薬	フェニトイン	アレビアチン								0	
抗てんかん薬	フェニトイン・フェノバルビタール	複合アレビアチン								0	
抗てんかん薬	フェニトイン・フェノバルビタール・安息香酸ナトリウムカフェイン	ヒダントールD・E・F								0	
抗てんかん薬	プリミドン	プリミドン								0	
抗てんかん薬	ホスフェニトイン	ホストイン								$\circ$	
抗てんかん薬	ラモトリギン	ラミクタール								0	
抗てんかん薬	レベチラセタム	イーケプラ				0		01*		0	
催眠・鎮静, 抗てんかん薬		フェノバール								0	
催眠鎮静薬・抗てんかん薬	臭化ナトリウム	臭化ナトリウム								0	
鎮静剤・抗てんかん薬	臭化カリウム	臭化カリウム								0	
漢方製剤	柴胡加竜骨牡蛎湯									$\circ$	l
抗パーキンソン剤	アマンタジン	シンメトレル								0	
抗パーキンソン剤	セレギリン	エフピー								0	
抗パーキンソン剤	プラミペキソール	ミラペックスLA							○3*		
抗パーキンソン剤	レボドパ	ドパストン	$oxed{\Box}$		0						$\square$
抗パーキンソン剤	レボドパ・カルビドパ	ネオドパストン			0						
抗パーキンソン剤	レボドパ・カルビドパ・エンタカボン	スタレボ配合			0				○1*		ш
抗パーキンソン剤	レボドパ・ベンセラジド	マドパー			0						ш
抗不安薬・睡眠薬	ニトラゼパム	ベンザリン								0	Ш
抗マラリア剤	メフロキン	メファキン				1	○7*				
抗真菌薬	フルコナゾール	ジフルカン				$\perp$					0
抗真菌薬	ホスフルコナゾール	プロジフ			$\perp$	1					0
Dravet症候群治療薬	スチリペントール	ディアコミット				1				0	ш
Lennox-Gastaut症候群治療薬		イノベロン	$\sqcup$			1_				0	ш
アルコール依存症治療薬		レグテクト	$\sqcup$			_				0	$\vdash$
選択的NA再取り込み阻害薬		ストラテラ				0				0	
非律動性不随意運動治療薬		コレアジン		0				O2*			
炭酸脱水酵素抑制剤	アセタゾラミド	ダイアモックス								0	
鎮痛薬	プレガバリン	リリカ								0	Ш
ニコチン依存症治療薬	バレニクリン	チャンピックス									

1\*自殺企図, 2\*自殺念慮・自殺企図, 3\*自殺念慮, 4\*うつ状態(自殺に至るような重篤な状態), 5\*自殺企図錯乱状態・自殺企図6\*自殺企図・自殺念慮・自殺既遂, 7\*アルコールとの併用で自殺願望

今回は、上に列挙したような自殺に関する記載が、添付文書にある薬剤についてまとめてみました。表中の白丸(○)は、自殺についての記載箇所を示しています。また、表中の黒丸(●)は、単に自殺についての記載があるのみならず、医療者側に説明義務があることを示しています。説明義務とは、「患者及びその家族等に対し、副作用発現の可能性について十分説明し、精神神経症状があらわれた場合には、医師と緊密に連絡を取り合うよう指導する」といった主旨として、添付文書上の「警告」や「重要な基本的注意」に記載されています。説明義務を要する薬剤については、処方時に、より注意が必要と思われます。「自殺」に関する詳細な記述については、各薬剤の添付文書をご参照ください。

【参考文献】各薬剤の添付文書

(鹿児島市医師会病院薬剤部 主任 瀧下 恭子)